

## 足摺宇和海国立公園（足摺地域）の公園計画の変更（一部変更）に関する概要

### 1. 背景

足摺宇和海国立公園は、四国南西部の高知県土佐清水市から愛媛県西予市に至る一帯の海岸部と、沖合の島嶼及び内陸部の山岳・渓谷等から成ります。南部の足摺地域は豪壮な断崖が連なる海岸景観、西南部の宇和海地域は繊細な入り江のリアス海岸と島嶼景観が広がる海岸景観を呈しており、これに内陸部の滑床渓谷、篠山、法華津峠周辺を含めた海洋型の国立公園です。

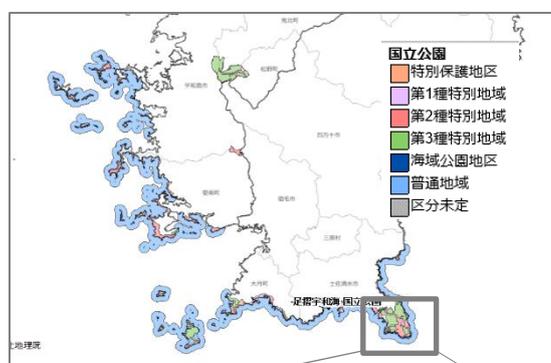
本国立公園足摺地域のうち足摺岬先端部は、ビロウ、アコウ、クワズイモ等の暖帯及び亜熱帯植物景観と花崗岩の海食断崖の海食洞が見られる箇所となっています。足摺岬先端部に位置する足摺岬集団施設地区は、四国最南端に位置する全国的にも著名な足摺岬を中心とする利用拠点であり、白山洞門やヤブツバキ群落等の自然景観から、足摺岬灯台や霊場 38 番札所金剛福寺等の人文景観に至るまで、数多くの興味対象を有しています。

足摺岬先端部には展望台が整備されており、一年を通じて多くの公園利用者に利用される利用の中心地となっていますが、老朽化及びユニバーサルデザイン非対応のため、公園利用の質の向上を目的に環境省が再整備を行うこととなっています。

以上のことから、自然公園の適正な利用の観点から利用拠点の整備改善を早急に実施するために、足摺岬集団施設地区の区域拡張をはじめとする公園計画の一部変更を行うものです。

### 足摺宇和海国立公園（足摺地域）

※今回の主な変更箇所：赤字



足摺岬集団施設地区の区域拡張

## **2. 変更案のポイント**

足摺岬先端部に位置する展望施設を環境省が再整備することに伴い、既存の足摺岬集団施設地区の拡張及び区域線の明確化を図ると共に、ユニバーサルデザイン化の推進を見据え、整備方針等の一部変更を行います。

## **3. 変更案の詳細**

- ・ 足摺岬集団施設地区の区域拡張及び区域線の明確化（現状：48.6ha→変更後：48.7ha）
- ・ 足摺岬集団施設地区における計画目標及び東部整備計画区の整備方針の変更